

Tour de Hokkaido 2021

新型コロナウイルス対策(案)の概要

2021.6.4

公益財団法人 ツール・ド・北海道協会



ROYCE'

目次

I .基本的事項

II .パンデミック・リスク評価

III .プロトコル

I .基本的事項

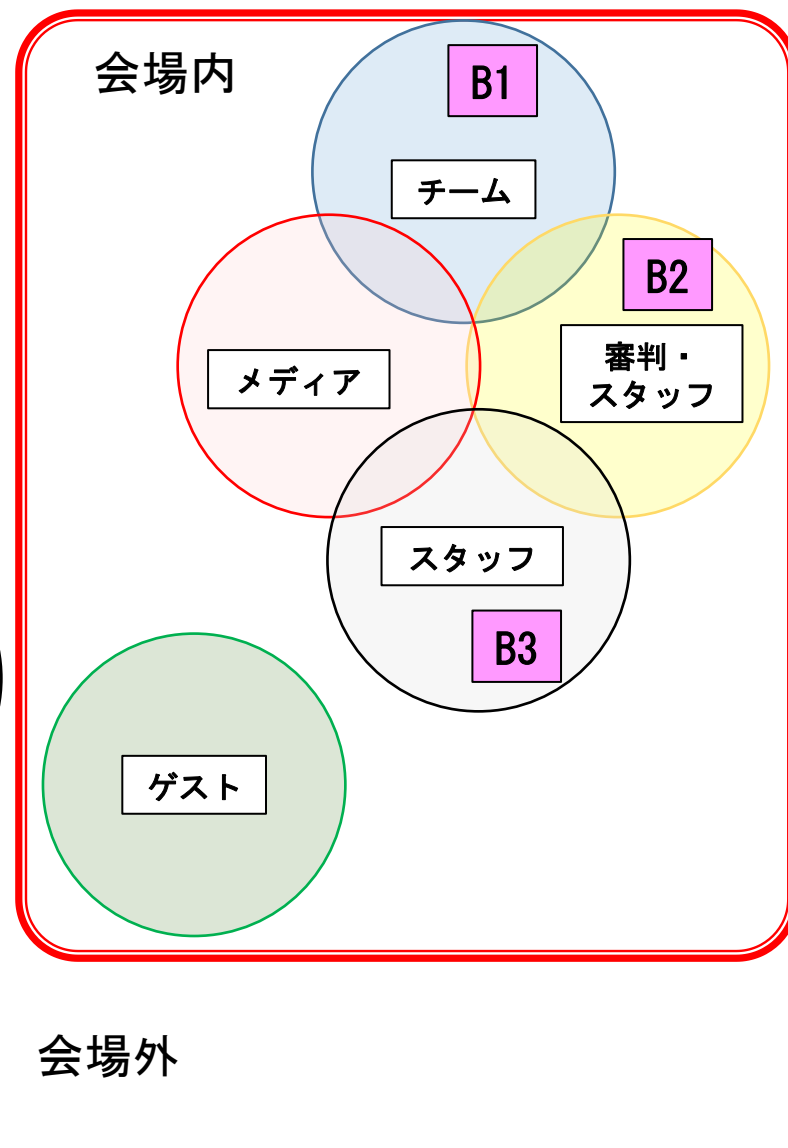
- 「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(令和3年2月15日改訂)」
公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて(7月17日改定)」
公益財団法人日本自転車競技連盟
- 「Emergency rules to be followed for the resumption of the road cycling season in the context of the coronavirus pandemic Class 1 – Class 2」 March 29, 2021
UNION CYCLISTE INTERNATIONALE(UCI)

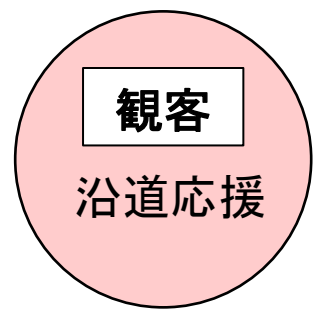
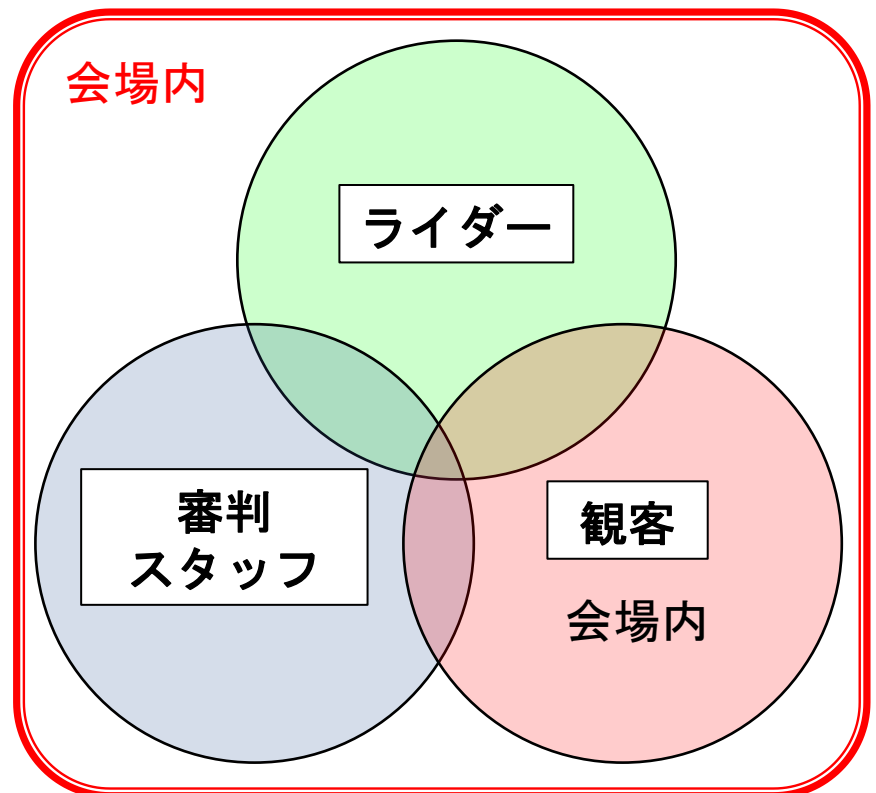
分類		PCR検査	検温問診
B1	チーム(ライダー、スタッフ)	○	毎日
B2	審判・スタッフ	○	毎日
B3	スタッフ(チーム接触なし)	-	毎日
	メディア	-	当日
	ゲスト	-	当日

※ 検温・問診は、大会2週間前から異常がないことを確認し、さらに毎日ヘルスチェックを行う。

チームを中心として、バブル(B1・B2・B3)を定義する。

- B1・B2はPCR検査、B1・B2・B3は毎日検温・ヘルスチェックを行う。
- メディア・ゲストは[過去2週間+当日]のヘルスチェックを行う。メディアは限られたエリア内のみで取材活動が許可される。
- 会場外のスタッフや沿道観客には遵守事項を呼びかける。





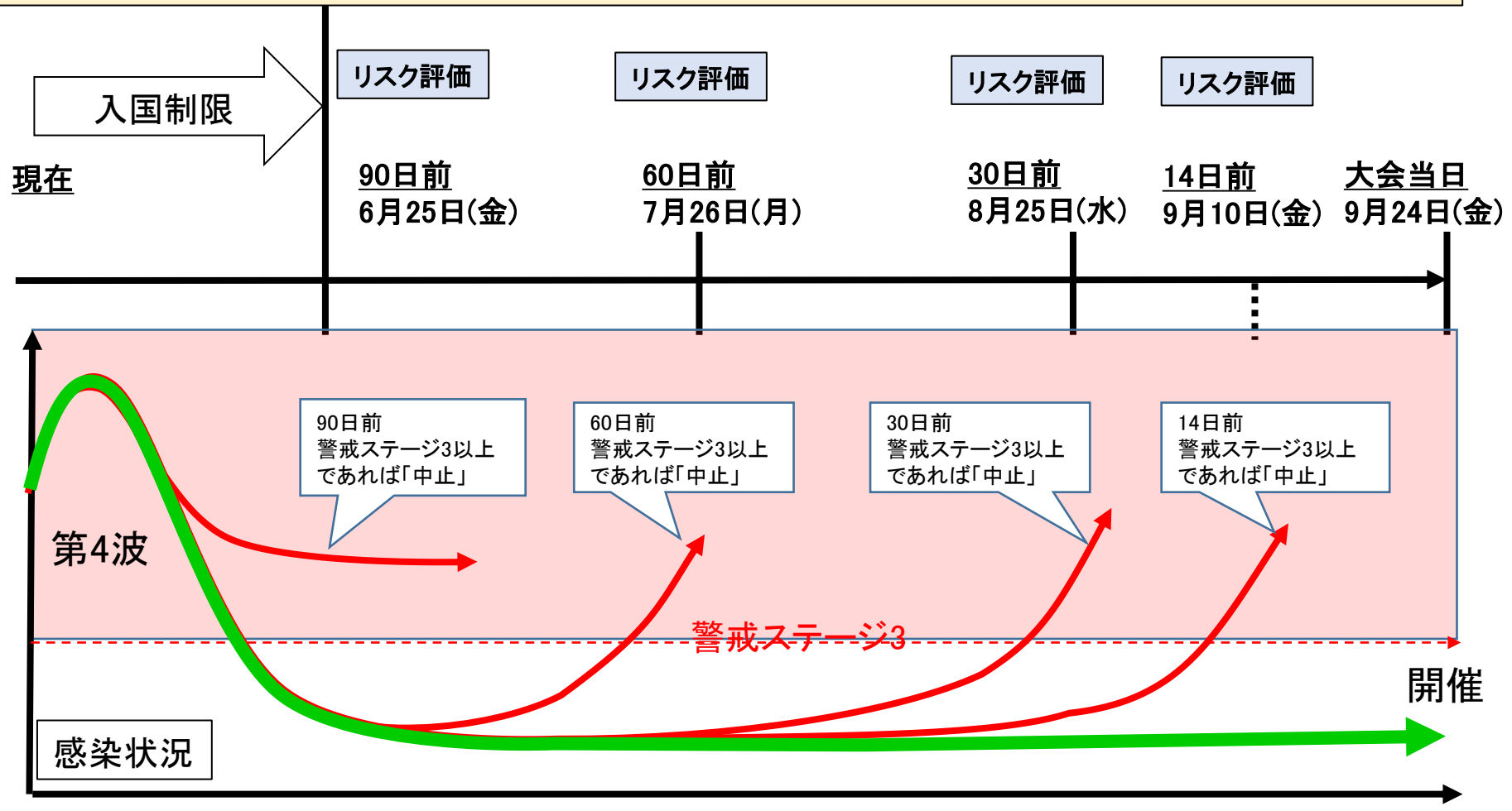
分 類	ヘルスチェック		
ライダー	ヘルス チェック	2週間分	A
審判・スタッフ			
観客 会場内		当日	B
沿道応援	なし		-

A: 大会2週間前からのヘルスチェック+検温
 B: 当日のヘルスチェック+検温

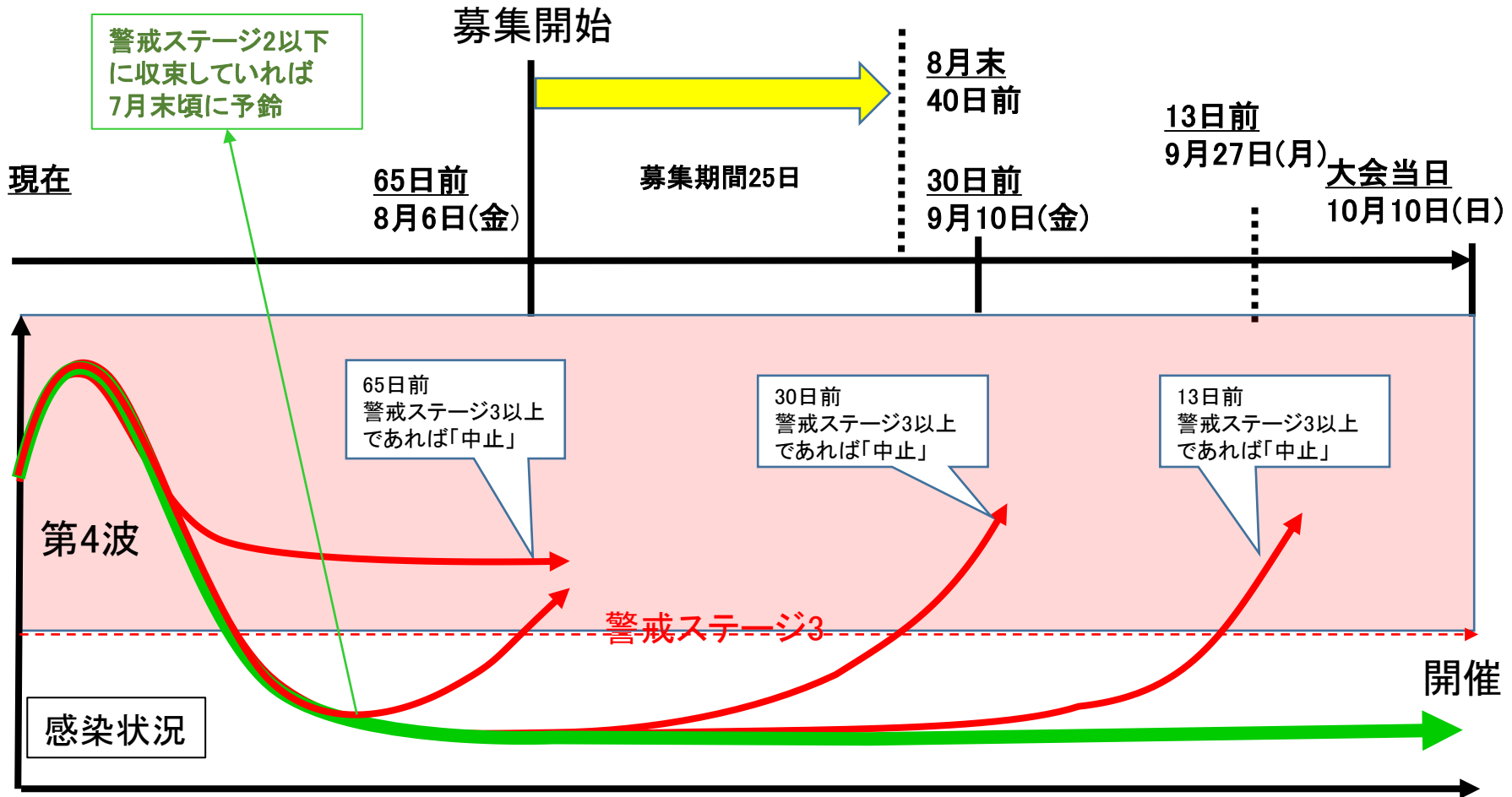
会場内の観客も含めてヘルスチェックを行う。「ライダー」「審判・スタッフ」は大会2週間前からの健康状態チェックと検温、「(会場内)観客」は当日の健康状態チェックと検温を実施し、チェック済の人はリストバンドを配布。

Ⅱ .パンデミック・リスク評価

- 大会90日前、政府による厳しい入国制限が続いているなら、海外チームの招待を断念する。
- リスク評価を下図のタイミングで実施する。
- 地方部における医療提供体制のひっ迫状況を勘案し、評価の時点で、北海道「警戒ステージ」が「3」以上なら大会を中止する。



- リスク評価を下図のタイミングで実施する。
- 地方部における医療提供体制のひっ迫状況を勘案し、評価の時点で、北海道「警戒ステージ」が「3」以上なら大会を中止する。



Ⅲ. プロトコル

計画策定

Situation (感染状況) (英文)レポート
Protocol (感染症対策) (英文)レポート
(Measures(excel file)) 対策のスコアシート
(List of teams) チームリスト

4種類の資料(電子データ)を、大会2週間前迄にUCIサーバーにデポジットすることが求められている。

体制

COVID-19チーム : COVID-19コーディネーター、スタッフ
→ テント1張り、本部車1台、救護車1台
救護班 : レースドクター、看護師、スタッフ
→ テント1張り、ドクターカー1台、救護車2台

連携して対応



大会前	
1	コーディネーター任命
2	宿泊施設対策 → ライフバブルの維持
3	疑わしい症例への対応手順確立
4	大会関係者の予防手順等通知
5	PCR検査機関等(民間自費検査)の情報提供

レースバブルへの参入手順	
1	大会前のヘルスチェック(PCR検査・問診票)

レースバブルの保護	
1	保護対策に関する情報提供
2	会場内のゾーニングと導線計画
3	共通エリア内の社会的距離確保
4	更衣室の使用禁止
5	観客対策(スタート・フィニッシュ無観客、沿道観戦)
6	共通エリアの清掃・消毒
7	汚染物等の廃棄処理
8	大会期間中のヘルスチェック
9	出走プロセスの適合化(接触可能性を回避)
10	スタートエリアのアクセス制限 → 無観客
11	フィードゾーンの感染防止対策
12	チーム車両・スタッフ車両の使用制限
13	フィニッシュエリアのアクセス制限 → 無観客
14	フィニッシュライン通過後のハグ禁止
15	表彰式の適合化 → 無観客
16	ドーピングコントロールステーションの適合化

疑わしい症例等への対応	
1	保健所・医療機関等との連携
2	コーディネーターとドクターとの役割分担・連携
3	疑わしい症例管理 (1)情報伝達 (2)保健所・医療機関への対応 (3)症例者への対応
4	症例確定後の意思決定

広報・情報提供の充実	
1	オフィシャルカメラマンのスタッフ化 → PCR検査 → プレス・メディアとの分離
2	ライブ動画配信(YouTube Live)実施 → スタート・フィニッシュ・表彰式 等
3	YouTubeにてダイジェスト版毎日配信 → 大会終了後は全体のダイジェスト版配信
4	Facebookにてライブ実況(Text)等
5	Twitter → FBデータとの連携
6	Instagram → 会場風景等の写真投稿
7	コミュニケ・リザルトの電子配信化(ホームページ) → 印刷物配布等の縮小化

無観客化に伴うセレモニー等の変更	
1	開会式、スタートセレモニー廃止 → スターターは地元関係者に依頼
2	表彰式は(室内)オンライン形式 → セルフサービス、挨拶なし、プレス取材あり

大会前	
1	専任チーム設置 →コーディネーター、スタッフ
2	参加者遵守事項等の明示 ①遵守事項、②健康状態チェック報告アプリ、 ③北海道コロナ通知システム、④COCOA
3	保健所・病院等への事前連絡

レース前	
1	健康状態チェックシート → 体温・問診項目
2	衛生手順等の情報提供 → 新北海道スタイル
3	会場入場管理・検温 ①検温、②チェックシート提出、③情報共有
4	ライダー受付 ①受付ブース(飛沫防止シート、距離確保等) ②タグ取り付けセルフサービス
5	共通エリアの清掃・消毒 ①戦略的ポイントに消毒剤配置、 ②トイレの清掃等、
6	救護テント・隔離テント ①救護テントとは別に隔離テント設置 ②個人用防護具の着用

レース中	
1	マスクの着用
2	共通エリアにおける社会的距離確保 ①朝の受付時、②ミーティング ③ライダー集合時、④オートバイのパーキング
3	観客対策 ①会場内の観客対策 ②沿道の感染対策
4	汚染物等の廃棄

レース後	
1	リザルト発表の電子化 → 掲示板廃止
2	表彰式 → 実施しない

疑わしい症例等への対応	
1	症例管理 ①情報伝達、②症例者への対応
2	症例確定後の対応

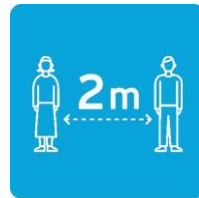
「新北海道スタイル」安心宣言

私たち事業者は、
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
「7つプラス1の習慣化」
に取り組めます！

1. スタッフのマスク着用や小まめな手洗いに取り組みます。
 2. スタッフの健康管理を徹底します。
 3. 屋内会場やテントの定期的な換気を行います。
 4. 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行います。
 5. 人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。
 - ・ 一定の距離(2m程度)を確保するソーシャルディスタンス。
 - ・ 間仕切りなどの活用。
 - ・ 人数制限や空席の確保。
 - ・ インターネットや SNS を活用した情報発信・情報共有など
 6. 参加者にも咳エチケットや手洗いを呼びかけます。
 7. 会場内掲示やホームページなどを活用し、主催者の取組を参加者に積極的にお知らせします。
(感染症対策の可視化(見える化))
- +1. 北海道コロナ通知システムを導入し、QRコードをわかりやすい場所に掲示します。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ツール・ド・北海道 2021



いまは、
ぎよりをとって



手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



3つの「密」を
さけよう



北海道コロナ通知システムと
接触確認アプリ(COCA)を
活用しよう



テイクアウトや
デリバリーも



オンラインを
上手に使おう



いまは、小声で



正しく理解し
思いやりある行動を

北海道コロナ通知システム メールアドレス ご登録のお願い

北海道コロナ通知システムとは？

「北海道コロナ通知システム」は皆様が施設利用やイベント参加の際、QRコードからメールアドレスを登録いただくと、同日に同一施設を利用した方の中から感染者が確認された場合、北海道からEメールでお知らせするものです。

取得情報
について

- 登録日時、場所、メールアドレスのみ取得します。
- 感染拡大防止のみ利用し、60日を経過した時点で、速やかに破棄いたします。
- 氏名・住所・電話番号・行動履歴(位置情報等)は一切取得いたしません。
※詳細はご登録の際に利用規約をご確認ください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの商標登録です。
協賛: クリアファンチャーメディア株式会社、NoMap実行委員会



第35回
ツール・ド・北海道
TOUR DE
HOKKAIDO 2021

健康状態チェック問診項目(国際レース用)

問診項目(Questionnaire)		Score
熱(38℃以上) (37.5~38℃) (37.0~37.5)	Fever>38℃ Fever : 37.5 - 38℃ Fever : 37.0 - 37.5℃	4pts 3pts 2pts
咳・呼吸困難	Cough and/or dyspnea	4pts
異常な倦怠感	Abnormal fatigue	4pts
味覚・嗅覚異常	Anosmia and/or ageusia	3pts
鼻づまり・のどの痛み	Stuffy nose or throat	2pts
吐き気・嘔吐・下痢	Nausea, vomiting, diarrhea	2pts
異常な筋肉痛	Unusual myalgia	2pts
異常な頭痛	Unusual headache	1pts

スコア合計 Total score	対応 Judgment
< or = 3	a little suspicious 少し疑われる
4-6	moderately suspicious → PCR test according to the context やや疑わしい → 状況に応じてPCR検査
> or = 7	highly suspicious → PCR test 非常に疑わしい → PCR検査

健康状態チェック
報告アプリ(市民用)

1 Stage 朝チームエリア入る際に検温(非接触式)



PCR検査は、レース前に1回
実施

健康チェック



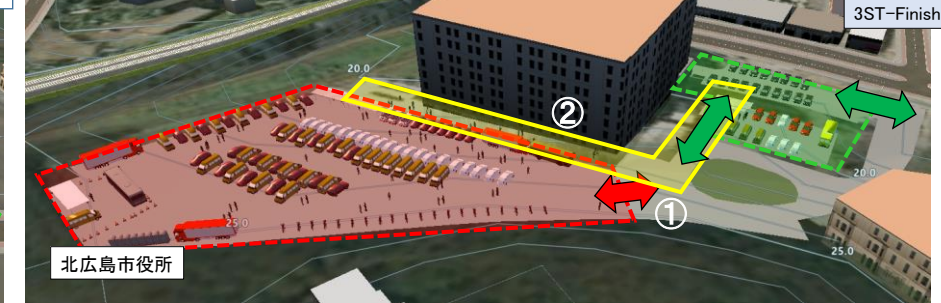
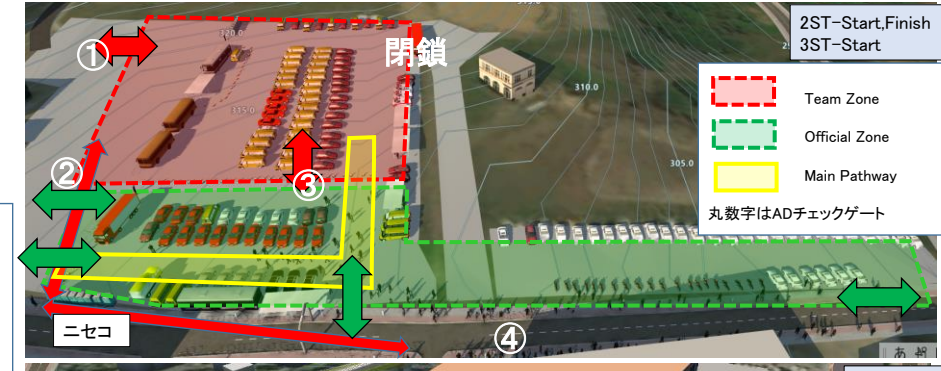
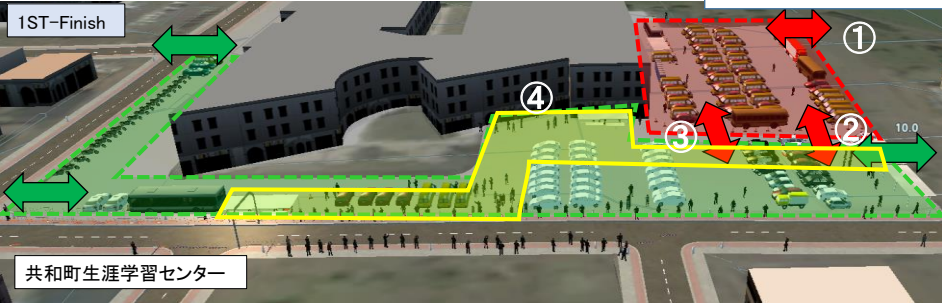
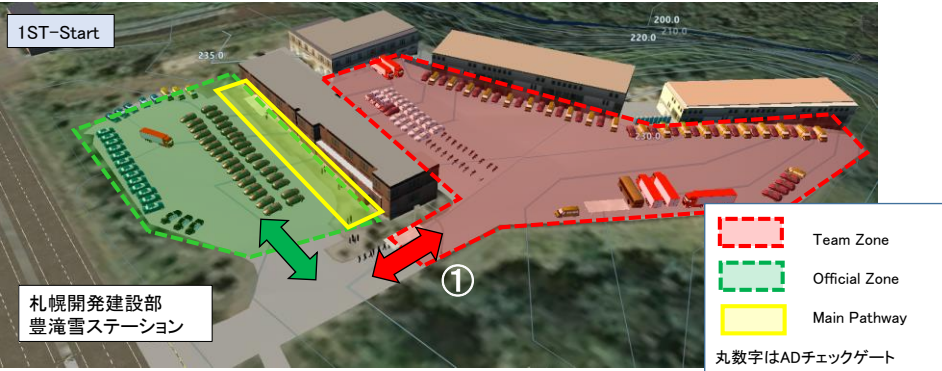
ADカード発行



会場内ゾーニングと導線計画

→ 許可区域と制限区域

会場内は無観客



スタート Start

- 9:00 オープニング・リマークス
感染症対策等に関する留意事項
- 9:05 出走チェック(義務的通過地点点呼)
チーム別に呼び込み
- 9:15 隊列車両の移動・整列を案内
無線の点呼・感度確認開始
- 9:20 ライダーのスタート位置集合
- 9:27 3分前(カウントダウン開始)
マスク着用解除、**スターター紹介**
- 9:29 1分前
- 9:30 スタート

地元自治体に参加要請

フィニッシュ Finish

- 約10分前～ MCの実況開始
- 先頭フィニッシュ
- 約20分後 最終ライダーのフィニッシュ予定



ステージ表彰式・最終表彰式

- 先頭フィニッシュの約10分後※ 表彰式開始
- 入賞者は控室に待機
- 一人ずつ表彰室に呼び込み、入室、手指消毒。
- MCによる式典進行
- ライダー紹介 **→ 来賓紹介**
- セルフサービスにてジャージ着用及び賞品授与
- 写真撮影(オフィシャル・メディア)
- 勝者インタビューと記者会見
- 表彰室から退出(控室で待機)
- 最後に集合写真(ライダーのみ)

LIVE
配信

- スタート風景 30分程度
- フィニッシュ風景 30分程度
- 表彰式 15分程度

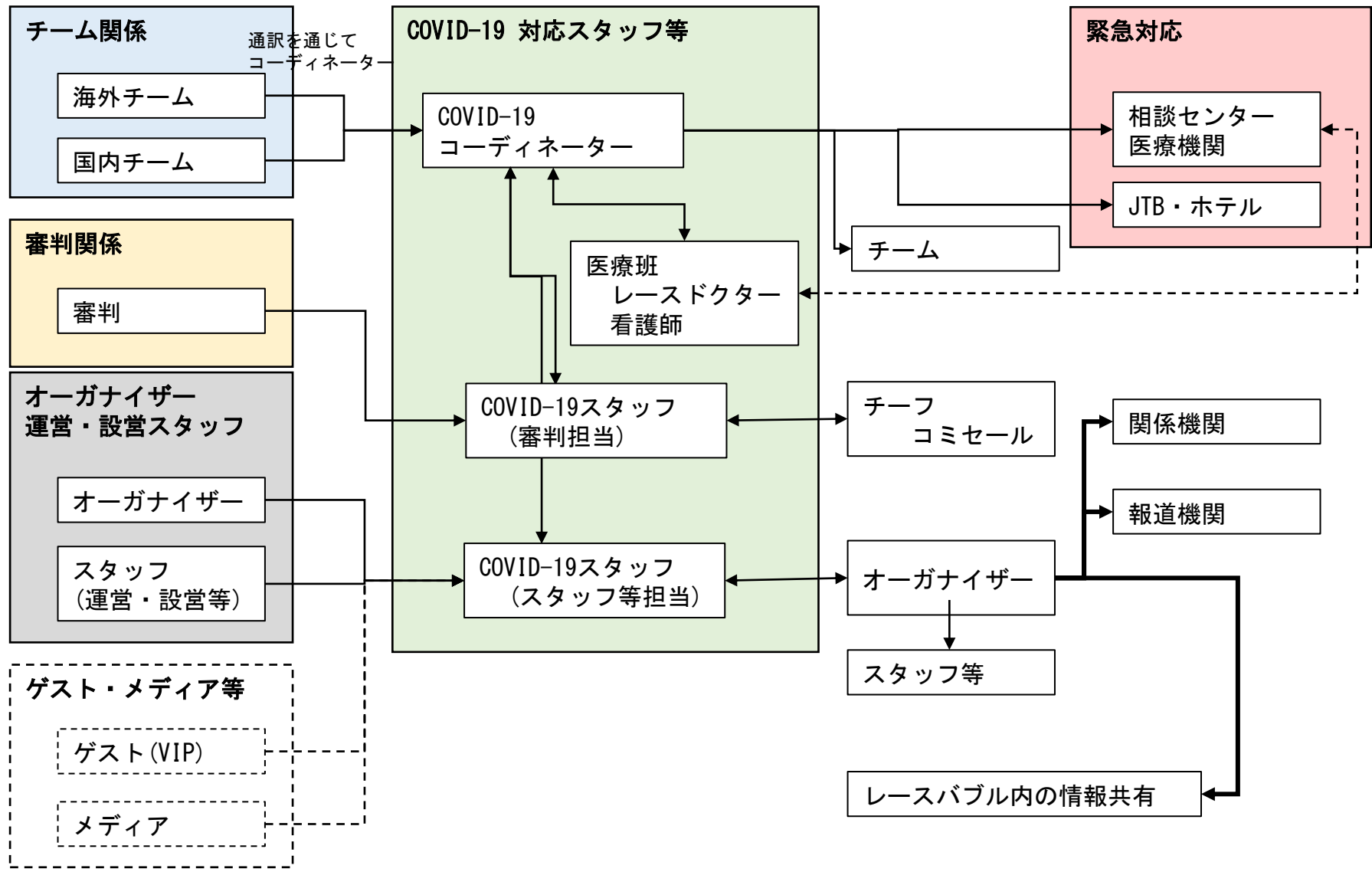
※最終ステージでは 約30分後

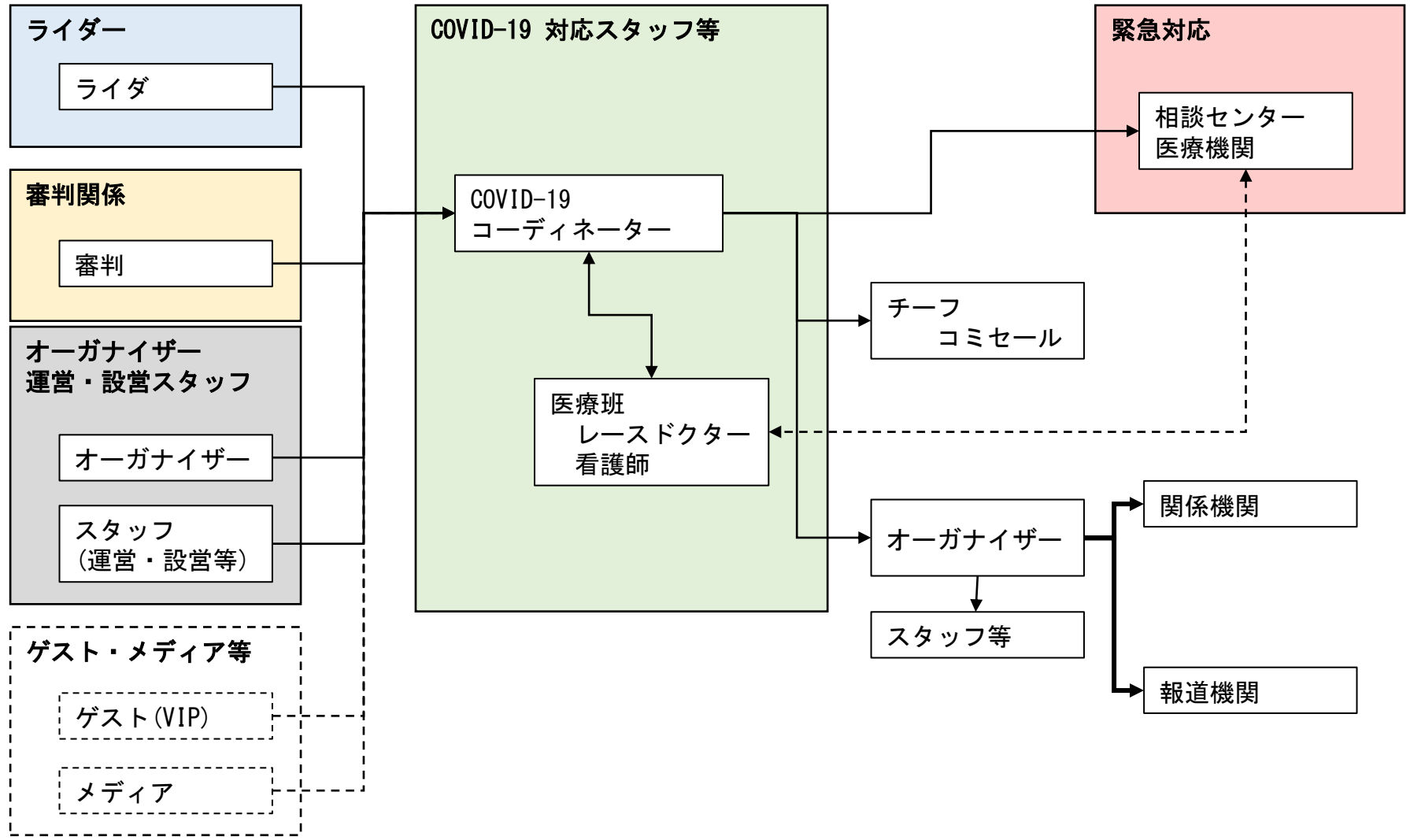
国際レースでは、「スタート会場」、「フィニッシュ会場」、「フィード・ゾーン」が無観客となっているため、観客の方・一般の方は会場内に立ち入ることが出来ません。

	会場内の観客対策	沿道の観客対策
レース	市民レース(国際レースは無観客)	国際レース、市民レース
健康チェック	会場入場時に健康チェック・検温。氏名・連絡先の申告。 リストバンド配布。	なし
遵守事項	<ol style="list-style-type: none"> ① 体調が悪い場合や感染が疑われる場合は、観戦を控える。また「健康状態チェックシート」を提出する。 ② マスクを着用する。 ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施。 ④ 他の参加者、主催者スタッフ等とのディスタンスを確保。 ⑤ 大きな声で会話、応援等をしない。 ⑥ 主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う。 ⑦ ゴミは持ち帰る。特に使用済みマスクや鼻水、唾液が付いたゴミは袋に入れて密封するなど配慮する。 ⑧ 北海道コロナ通知システム、接触確認アプリ(COCOA)を活用する。 ⑨ 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 体調が悪い場合や感染が疑われる場合は、観戦を控える。 ② 沿道で観戦する場合は、住まいに近い場所で観覧する。 ③ マスクを着用する。 ④ 大声を出さずに、拍手により応援する。 ⑤ 観覧時は前後左右の方と適切な距離を取る。 ⑥ 北海道コロナ通知システム、接触確認アプリ(COCOA)を活用する。 ⑦ レース観戦後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、医療機関に相談の上、主催者に速やかに報告する。
周知方法	募集要領、プログラム、チラシ、ホームページ掲載等 会場内にピクトグラム掲示、MCによる会場内アナウンス	チラシ、関係自治体の広報誌掲載を要請 ホームページ、隊列先頭の広報車でアナウンス

日本スポーツ協会ガイドライン、JCFガイドライン準拠

「聖火リレー観覧注意事項」準拠





No	月日	大会名	開催場所
1	8/16	The27th Mt.Moiwa hill climb	札幌藻岩山
2	8/23	Sapporo小・中学生サイクルロードレース	札幌モエレ沼公園
3	8/23	モエレ沼タイムトライアル	札幌モエレ沼公園
4	9/30	北海道秋季トラック競技記録会	函館
5	9/20	札幌市民体育大会サイクルロード	札幌モエレ沼公園
6	10/11	道新杯自転車ロードレース大会	長沼町

隔離スペース(救護テント)



検温・健康チェック



受付



ミーティング(ソーシャルディスタンス確保)

